

# 輝来都(きらっと)かにえ・

## 協働まちづくりモデル事業

愛知県 蟹江町

人口：36,705人

面積：11.10km<sup>2</sup>

**担当部署：政策推進室**

### 概要

地域課題の解決を図るとともに、住民団体等の活動を活発化させ、町と住民との協働による各分野のまちづくりを進展させることを目的として協働まちづくりモデル事業を実施。

### 選定理由

(愛知県コメント)

住民団体から企画提案を募集し、優れた提案等を行った団体に対し当該事業を委託することにより、地域に密着したきめ細かい活動が実施できるとともに、住民団体や市民活動の活性化が図られる。

### 背景

「輝来都かにえ・まち再生懇話会 2007」(住民会議)における提言等を踏まえ、地域課題の解決を図るとともに、住民団体等の活動を活発化させ、町と住民との協働による各分野のまちづくりを進展させることと協働意識の醸成を目的としてモデル事業を実施することとした。

・「輝来都かにえ・まち再生懇話会 2007」(住民会議)とその提言

第4次蟹江町総合計画の策定を視野にいれ、都市再生・地域再生をはじめとする蟹江

町のまちづくりの、さまざまな課題等について住民と議会と行政が自由な情報交換等をする「場」であり、その力が三位一体となって協働の施策へと実現させていくことを目的とする「輝来都かにえ・まち再生懇話会 2007」を4回にわたり開催し、【いきいきと暮らせる健やかなまち】【個性と創造性を育むまち】【自然と共生する快適なまち】【秩序ある楽しく歩けるまち】【活力と交流のまち】【町民と手をたずさえるまち】の各分野について39件の提言などが寄せられた。

## 具体的内容

### ○ 町回覧・町ホームページにより募集

住民団体や住民グループ等が主体となり、町との協働のもとで、地域課題の解決を図るためのモデル事業の提案を募集。

【参考：モデル事業募集要綱】

#### 1 募集の趣旨及び目的

蟹江町では、住民団体や住民グループ等が主体となり、町との協働のもとで、地域課題の解決を図るためのモデル事業の提案を募集します。

また、このモデル事業を契機に、住民団体等の活動を活発化させ、町と住民との協働による各分野のまちづくりを進展させる事を目的としています。

#### 2 募集事業

対象となる協働事業は、公益性（不特定多数のものの利益の増進）に寄与する非営利事業とし、次の要件をすべて満たすこととします。

(1) 次のテーマのいずれかの推進に資するものであること。

- ア 健康で安心して暮らせるまちづくり
- イ 子育てしやすいまちづくり
- ウ 水郷環境の保全・水郷を生かしたまちづくり
- エ かにえの歴史・文化を生かしたまちづくり
- オ 安全なまちづくり
- カ にぎわいや交流の拡大
- キ かにえの魅力の発信
- ク その他キラッと輝く蟹江づくり

(2) 町が団体等と協働で実施することにより事業効果が高まること。

(3) 団体等が、協働事業を実施することが可能であること。

(4) 上記にかかわらず、次に該当するものは対象外とします。

- ア 構成員の親睦や趣味的活動又は特定の人や団体の利益を目的とするもの。
- イ 国又は地方公共団体（本町の外郭団体を含む。）等から補助金等の助成を受ける事業。
- ウ 営利、宗教及び政治を目的とするもの。
- エ 調査、研究だけを目的とするもの。

#### 3 対象となる団体・グループ

対象となる団体・グループ（以下「団体等」という）は、公益活動を行う住民団体等（住民活動団体、ボランティア団体、NPO、町内会等の非営利団体等）とし、次の要件をすべて満たすこととします。

(1) 町内に在住又は在勤する5人以上の者が含まれる団体等であること。

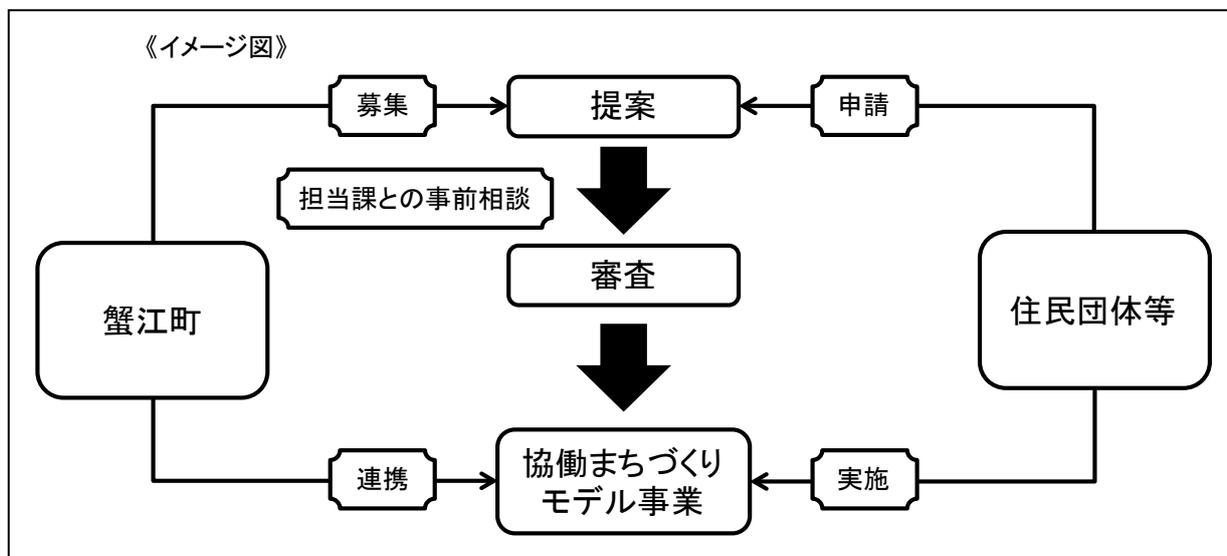
(2) 代表者は町内に住所を有する者であること。

(3) 定款、規約又は会則等を有していること。

(4) 活動の目的が宗教、政治に関するものでないこと。

(5) 暴力団でないこと。暴力団又はその構成員（暴力団の構成団体の構成員を含む。）若しくは暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制の下にある団体でないこと。

【参考：事業の流れ】



○ 採択事業

- ・ 保育所における次年度就学予定の外国人の子どもと保護者のためのプレスクール事業（かにえ子ども日本語の会）

外国人児童及び保護者のために多言語での発音をつけた「ひらがな練習帳」及び「すうじ練習帳」を作成し、就学前指導の教室を開催する。

- ・ 水郷の風情創出事業（風情ある水郷を創出する会）

蟹江川水辺スポットの水辺に植栽カゴを設置し、ヨシ、ガマ類を植栽することにより徐々に水郷の風情の創出を目指す。

- ・ 八重桜並木の水辺再生計画（八重桜並木を守る会）

八重桜並木の維持管理及び用水路の清掃、浄化により水辺を再生させる。また、アンケートを実施し地域の活性化計画の基礎資料を整備する。

- ・ 学戸小学校の菖蒲園にホタルを（学戸ホタルの会）

学戸小学校南側の菖蒲園を利用し水辺環境を整備するとともに研修会を開催し、蟹江町民の水環境に対する関心を養うとともに啓蒙を行う。

他に「子育て支援講演会の開催（わいわいネットかにえ）」「黒川紀章の軌跡展—PART II（黒川紀章の軌跡展推進グループ）」「蟹江本町地区大地震時ハザード調査（蟹江本町町内会連合会）」「ガイドと歩く蟹江町史跡・名所めぐり—蟹江の魅力再発見—（かにえガイドボランティア歴史・文化夢案内人）」「防災講演会（かにえ防災減災の会）」

○ 平成 20 年度予算

2,000 千円

各団体 1 事業 20 万円を限度

（平成 21 年度は予算 1,500 千円、各団体 1 事業 15 万円を限度に実施。8 団体採択）

## 取組中の課題・問題点

2007年度の「輝来都かにえ・まち再生懇話会 2007」における提言等を踏まえ、住民団体等から企画提案を募集し、優れた提案を行った団体等に対し、町が当該事業の実施を委託することにより、地域課題の解決を図るとともに、住民団体等の活動を活発化させ、町と住民との協働による各分野のまちづくりを進展させることができると考えているが、さらなる住民・団体への協働の理念の周知が課題である。

## 工夫点

- ・ 提案できる事業数は、1団体1事業とし、申請のあった団体等の名称及び事業概要等は、原則として公表することとした。
- ・ 提案する協働事業の内容について、担当課と事前に相談をすることができることとした。
- ・ 団体等には、審査委員会において提案内容についての説明（プレゼンテーション）を求め、住民の代表等からなる審査委員会により以下の項目について審査を行い、協働事業の候補を選考した。
  - ア 公益性
  - イ 課題分析の的確さ、ニーズ、緊急性
  - ウ 協働の必要性和効果
  - エ 実現性、団体等の実行能力
  - オ アピール力
- ・ 事業の決定は審査委員会の選考結果を参考に町長が協働事業の決定を行った。
- ・ 事業の完了後、輝来都かにえ・協働まちづくりモデル事業報告会を実施し、今後の各分野の協働推進の一助とした。

<当日の参集者>

- ・ モデル事業実施団体 9 団体 40 名程度
- ・ 蟹江町役場（町長・副町長・部課長・総合計画プロジェクトメンバー） 60 名
- ・ 輝来都かにえ・総合計画検討会議（住民会議） 34 名

学識経験者 2 名による取り回しにより 9 団体から「事業の実績」「事業効果」などの発表報告を行った。



◇事業報告会の様子

## 効果

地域課題の掘り起こしと解決を図ることができた。住民団体や住民グループ等が主体となることで、行政に頼らずに住民自らが創意工夫し実践する、地域に密着したきめ細かい活動が期待できる。また、このモデル事業を契機に、住民団体等の活動を活発化させ、協働の理念とその波及効果が町財政の負担軽減につながることを期待できる。

## 住民（職員）の反応・評価

職員が目線ではなく、住民が住民の目線での課題解決を主体となって行い、地域の活性化につながる事となった。

## フォローアップ

- ・ 事業の完了後、実施した事業報告会を通して次年度も継続すべきとした事業は次年度  
の予算に反映することとした。
- ・ 平成 20 年度モデル事業のうち 4 事業を平成 21 年度各担当課事業として継続とした。  
①保育所における次年度就学予定の外国人の子どもと保護者のためのプレスクール事業  
（かにえ子ども日本語の会）・・・福祉・児童課にて対応  
②水郷の風情創出事業（風情ある水郷を創出する会）・・・土木課アダプト事業にて対応  
③八重桜並木の水辺再生計画（八重桜並木を守る会）・・・土木課アダプト事業にて対応  
④学戸小学校の菖蒲園にホテルを（学戸ホテルの会）・・・土木課アダプト事業にて対応

## 今後の課題

平成 21 年度は一般型協働事業と町提案型協働事業としてテーマを提起し行ったが、町提案型協働事業については応募がなく、一般型協働事業は応募が 8 団体と低調であった。（前年と同一団体も応募は可としているが同一提案テーマは不可）

今後は各団体の相互理解や新たな連携・交流を進め、協働のまちづくりに対する認識を職員とともに進めることに取り組みたい。

## 今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 募集・広報、審査委員会、関係課との仲介など事務的な事柄に時間を要し実施に取り掛かるまでに時間がかかる。
- ・ 本来町が行なうべき事業であるかなどの点について、庁内での協働の意味を含めた議論が必要。
- ・ パイロット的にモデル事業として採択した後の、予算面及び実施する住民団体等の継続性の考慮。

## アドレス

[http://www.town.kanie.aichi.jp/kakuka/modeljigyo\\_index.html](http://www.town.kanie.aichi.jp/kakuka/modeljigyo_index.html)